

やったぞ、青い服のスーパーマン!

山口市初! 第66回岐阜県消防操法大会ポンプ車操法の部で第1分団が6位入賞

消防団による消火技術を競う「消防感謝祭」第66回岐阜県消防操法大会が、8月6日に瑞穂市で行われました。山口市の代表として第1分団(高富小校区)が出場し、市消防団として初となるポンプ車操法の部で6位入賞を果たし、また、3番員の長江英臣さんが優秀番員賞を受賞するなど、輝かしい成績をおさめました。



2番員
橋枝 直さん



1番員
角川 一馬さん



指揮者
山田 昭二さん



補助員
藤澤 准二さん



4番員
田立 全恒さん



3番員
長江 英臣さん

山口市消防団第1分団
地域を守るための、高い技術力を披露

消防操法大会は、迅速性、正確性、安全性などの観点から消防団員の消火技術を競うもので、岐阜県大会には地区大会などで選ばれた30隊、180人が参加しました。

消防団員は、普段はそれぞれの職業を持ちながら、火事や災害が起きると、真っ先に駆けつけ、困った人々を助けます。

岐阜県大会で6位入賞と、県内の数ある消防団の中でもその技術の高さを示した山口市消防団第1分団は、まさに地域を守る「青い服のスーパーマン」です。

■ホースを持って全力疾走！ポンプ車操法

消防操法にはポンプ車を使用する「ポンプ車操法」と、可搬ポンプを使用する「小型ポンプ操法」の2つがあり、第66回岐阜県消防操法大会では、ポンプ車操法を競いました。

ポンプ車操法とはどのようなものなのかを、5月に行われた市操法大会の写真をもとに紹介します。(写真はすべて第1分団)



1 操法開始の合図とともにポンプ車から下車し、それぞれの持ち場に移動します。指揮者は各番員の動きを確認したあと、火災状況の確認のために火元を想定した火点に向かいます。



2 1番員と2番員が協力しながら、第1火点付近までホースを3本分のばし、つなげていきます。また、3番員と4番員は補助員と一緒に水槽まで吸管(吸水ホース)をのばし吸水の準備をします。



3 1番員の「放水始め」の号令で、ポンプ操作を行う4番員が送水を開始し、1番員が放水して第1火点を倒します。また、3番員は破壊作業に使用する「とび」を持って火点に移動し、構えます。



4 指揮者の「第2線延長」の号令で、2番員と3番員が協力しながら、第2火点付近までホースを3本分のばし、つなげていきます。



5 2番員の「放水始め」の号令で、ポンプ操作を行う4番員が送水を開始し、2番員が放水して第2火点を倒します。また、3番員は火点に移動し「とび」を持って、構えます。その後、指揮者の号令で放水を終了し、撤収します。

ポンプ車操法図解

水槽からポンプ車で吸水し、2つの火点(的)に向けて放水します。

